

## 海外研修報告

### オーストラリア海外研修報告（キャリア教育）

#### I 研修の内容

教育課題研修指導者海外派遣プログラムで、10月20日から10月31日までの12日間、オーストラリアに赴き、当地のキャリア教育と教育制度について研修を行った。

##### 1 調査団の研究課題

- (1) 発達段階に応じたキャリア教育の取組 ～初等教育の視点を中心に～
- (2) 学校教育におけるキャリア教育の位置付け
- (3) 学校と地域・企業等が連携したキャリア教育の進め方

##### 2 調査団の調査方法

学校関係…公立小中高等学校，小中高一貫校，私立高等学校など8校訪問

関係機関…ビクトリア州教育省，

キャリア・アドバイザー協会

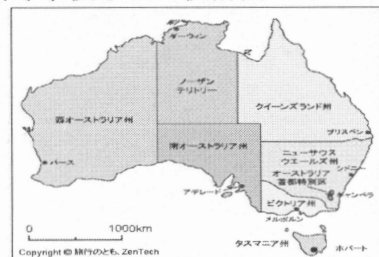
ノボテル・オン・コリンズ

ニューサウスウェールズ州教育省

サザランド市役所

ウーロンゴン大学

TAFEブラッド・フィールド・シニア・カレッジ



#### II 研修の成果と考察

- 1 オーストラリアでは児童生徒が主体的にキャリアプランニングできるシステムとカリキュラムが構築されている。初等教育と中等教育の連携を図る中、早期からキャリア教育を展開することで、より効果的な学習活動が期待できるようだ。日本においても、児童生徒のキャリアプランを発達段階に応じてそれぞれ確立することが必要である。
- 2 全体のカリキュラムにはキャリア形成に必要な能力・態度の育成や知識等の理解などキャリア教育で取り組むべき学習活動が明確に位置付けられており、キャリア教育担当者を中心に推進されている。また、各学校においては、地域や学校・生徒の実態に即し、体系的・系統的なキャリア教育実践のための教育課程を編成・実施されている。そして、生徒一人一人のキャリア教育を推進するための教材等が充実している。日本においても、児童生徒一人一人のニーズに応じた体系的・系統的なキャリア教育のさらなる推進が必要である。
- 3 地域・企業は州教育省の策定したフレームワークに則り、学校と共通理解をした上で職場体験を受け入れている。また、地域・企業は、職場体験が未来の社会を形成する人材育成であると共に、プロモーション（宣伝広報）とマーケティング（市場調査）という2つのメリットが得られるということを理解しており、職場体験を積極的に受け入れる環境が整っている。さらに、キャリア教育協会ではキャリアアドバイザーの養成について、州教育省ではカリキュラム編成や予算編成について担当するなど役割を分担しており、学校と連携する中で有意義なキャリア教育が展開されていた。

（塩山北中学校 那須丈彦）